

4

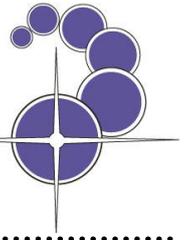
CREATIVE

学年だより

第7号 令和元年6月7日

県立村上中等教育学校（15期生）

●まずは時間確保！ ビジョンをもって取り組もう！



学習記録を見ると、後期生となって、初めの考査に向け、頑張っている人が多いことが伺えます。先日、ある人がふと、

1週目と2週目では、できない量がぐっと減りました！

と話してくれました。この言葉をきいて、「あ、勉強の基本形を理解しているな」と思いました。あと数回、繰り返せばよいだけです。勉強は意外とシンプルな活動です。要は、

出来ないことを、できるようにすればいいのです。

そのためには、①何ができないかを洗いざらいし、②繰り返し練習をし、できるようにするだけです。

ただ、その「練習」の方法が問題です。先日、お話ししたように定着には理解が必要です。またAという力をつけなくてはいいけないのに、Bという力をつける方法になっていないか、吟味する必要があります。

質を高めることも重要です。しかし、質を高めよといわれても、なかなか実感できないでしょう。ただ1つ言えることは

量をこなせば、おのずと、質は高まってきます。

そこで、以下を確認してみてください。

- 自分が、何ができていないかを見極めているか。
- できないことを、できるようにするための方法は適切か。
- 理解をしているか。
- できるようになるために、回数をこなしているか。

これを踏まえていれば、学習時間などというものは勝手に増えるものです。逆を言えば、学習時間が少ない場合は、これらがきちんと整理されていない証拠と言えます。

さあ、初の考査を突破しましょう！

その勢いで、初の模試も突破しましょう！ (水戸)

●学級日誌より

5月30日(木)

テスト勉強、疲れた。これからちゃんと勉強していくと決意しているので頑張りたい。50メートル走の走りがうまくいかなかった。勉強面での不安をなくせばタイムも縮まるのだろうか。

★短距離もスタート、中盤、後半とでは走り方が異なり、それぞれ違う練習をしますよね。勉強も一緒。あと、自信をつけるためにも「量」は必要です！(み)

5月31日(金)

今日は公欠でいない人がたくさんいた。授業が英語と数学だけだったので、時間があつという間に進んでいきました。

★「ラーニングピラミッド」の一番上は「他者に教えること」。公欠だった人に、どんどん教えてあげるものよい方法だ！(み)

6月3日(月)

前期中間考査まであと1週間。睡眠不足で授業が眠くなるが気持ちを切り替えてテストに向けて勉強に向けて励みたい。

6月4日(火)

勉強に疲れました。最初は大丈夫だったけどだんだん頭が痛くなってきました。でも上位に入りたいので頑張ります。

★記録表を見ると、多くの時間を費やしていますね。勉強にも体力は必要です！(み)

戦略的に、関門を突破しよう！

時間が足りない！は進歩の証！ 週末、頑張れ！！

考 査が終わった13日(木)から、朝テの時間に**新書読書**を行います。それまでに「新書」を各自で1冊選んでおいてください。

新書とは、新書判(173×105mm、およびそれに近い判型)の叢書・本をいい、やや専門的な内容が手軽に読める本を言います。

有名などころとしては、

- ・岩波新書
- ・ちくま新書
- ・講談社現代新書
- ・中公新書
- ・PHP新書
- ・SB新書
- ・講談社学術新書
- ・集英社新書

などがあります(小説、ライトノベルは×)。

その特徴としては

- ・安い
- ・薄い
- ・専門分野な内容が理解しやすい

ことが挙げられます。

実際、大学の教科書や論文の参考文献に使われることもあります。

選び方のポイントは

- ・自分の関心のある分野の新書を選ぶ
- ・あえて苦手な分野や関心の薄い分野の新書を選ぶ
- ・気になる筆者の新書を選ぶ

などが考えられます。

今後、4学年では「ビブリオバトル」「課題個人研究」などの活動をする予定です。今回の新書読書はその第一歩に位置付けられます。考査準備の合間にも、図書館や書店で一冊を選んでおいてください。(水戸)

中等学術新書

これが新書の
実際の大きさ

新書読書のススメ

村上 太郎

2組の「**椋沢先生文庫**」も参考に!

※ただし丁寧に扱うこと

新書で
広げる
深める

私のおすすめ！新書！！ MY RECOMMENDATION

■『文系？理系？人生を豊かにするヒント』(志村史夫) ちくまプリマー新書

もしかしたら「自分は文系or理系」は、思い込みかもしれません。世界は感動に満ち、実は全てはつながっている…。筆者の勧める文理融合の考え方は、新しい視点をあたえてくれるかも。進路決定の前に一読してみては？(細川)

■『「勉強しろ」と言わずに子供を勉強させる法』(小林公夫) PHP新書

親からの視点での勉強に対する姿勢が書いてあります。皆さんにとってもヒントとなることも、あるかもしれません。「脳」の働きについての本などもおすすめ。(笹山)

■『やってはいけない脳の習慣』(川島隆太・横田晋務) 青春新書

ほとんどの人が持っているスマートフォン。あなたは上手に使えていますか？使われていませんか？上手に使えないと、学習効果が無くなるらしい！？これを読んで今一度使い方を見直してみては？(椋沢)

■『一切なりゆき～樹木希林のことば～』(樹木希林) 文春新書

読みやすく自分自身のことを振り返りながら読むことができ良かったです。人生について深く考えさせてくれました。(中野)

【大切なお知らせ】 年間行事予定中の「六碧祭」。10月20日(日)に変更いたします。